

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2008-133124(P2008-133124A)

【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2006-322157(P2006-322157)

【国際特許分類】

B 6 5 H	37/04	(2006.01)
B 4 2 C	19/00	(2006.01)
B 4 2 C	11/02	(2006.01)
B 4 2 C	9/00	(2006.01)
B 4 2 C	1/12	(2006.01)
G 0 3 G	15/00	(2006.01)
B 6 5 H	35/04	(2006.01)

【F I】

B 6 5 H	37/04	Z
B 4 2 C	19/00	
B 4 2 C	11/02	
B 4 2 C	9/00	
B 4 2 C	1/12	
G 0 3 G	15/00	5 3 4
B 6 5 H	37/04	A
B 6 5 H	35/04	

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月30日(2009.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置において、

前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記表紙として使用する用紙のサイズを示す表紙サイズ情報、及び前記中紙に対する断裁量情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記中紙サイズ情報、前記表紙サイズ情報、及び前記断裁量情報に基づいて製本可能な束の厚さに関する束厚情報を算出する束厚算出手段と、

前記束厚算出手段により算出された束厚情報を外部へ報知する報知手段とを備えたことを特徴とする製本装置。

【請求項2】

前記報知手段は、前記冊子の小口方向の断裁量が最大断裁量をオーバーする場合に報知することを特徴とする請求項1に記載の製本装置。

【請求項3】

前記報知手段は、前記冊子の小口方向の表紙端面が仕上がり製本サイズの小口端面より内側に入る場合に報知することを特徴とする請求項1に記載の製本装置。

【請求項 4】

記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に接着材を塗布して表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置において、

前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記中紙に対する断裁量情報、及び前記中紙の束の厚さに関する束厚情報を示す中紙束厚情報を取得する取得手段と、

前記取得手段より取得された前記中紙サイズ情報、前記断裁量情報、及び前記中紙束厚情報に基づいて使用可能な表紙サイズを算出する表紙算出手段と、

前記表紙算出手段により算出された表紙サイズに基づいて、選択可能な表紙としての用紙を制限する表紙制限手段とを備えたことを特徴とする製本装置。

【請求項 5】

用紙に画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部から排出された画像形成済みの記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本部とを備えた画像形成装置において、

前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記表紙として使用する用紙のサイズを示す表紙サイズ情報、及び前記中紙に対する断裁量情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記中紙サイズ情報、前記表紙サイズ情報、及び前記断裁量情報に基づいて製本可能な束の厚さに関する束厚情報を算出する束厚算出手段と、

前記束厚算出手段により算出された束厚情報を外部へ報知する報知手段とを備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 6】

前記報知手段は、前記冊子の小口方向の断裁量が最大断裁量をオーバーする場合に報知することを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記報知手段は、前記冊子の小口方向の表紙端面が仕上がり製本サイズの小口端面より内側に入る場合に報知することを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

用紙に画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部から排出された画像形成済みの記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本部とを備えた画像形成装置において、

前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記中紙に対する断裁量情報、及び前記中紙の束の厚さに関する束厚情報を示す中紙束厚情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記中紙サイズ情報、前記断裁量情報、及び前記中紙束厚情報を基づいて使用可能な表紙サイズを算出する表紙算出手段と、

前記表紙算出手段により算出された表紙サイズに基づいて、選択可能な表紙としての用紙を制限する表紙制限手段とを備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 9】

記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置の制御方法であつて、

前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記表紙として使用する用紙のサイズを示す表紙サイズ情報、及び前記中紙に対する断裁量情報を取得する取得工程と、

前記取得工程で取得された前記中紙サイズ情報、前記表紙サイズ情報、及び前記断裁量情報に基づいて製本可能な束の厚さに関する束厚情報を算出する束厚算出工程と、

前記束厚算出工程により算出された束厚情報を外部へ報知する報知工程とを有することを特徴とする製本装置の制御方法。

【請求項 10】

記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置の制御方法であつて、

前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記中紙に対する断裁量情報、及び前記中紙の束厚情報を示す中紙束厚情報を取得する取得工程と、

前記取得工程で取得された前記中紙サイズ情報、前記断裁量情報、及び前記中紙束厚情報に基づいて使用可能な表紙サイズを算出する表紙算出工程と、

前記表紙算出工程により算出された表紙サイズに基づいて、選択可能な表紙として用紙を制限する表紙制限工程とを有することを特徴とする製本装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】製本装置及びその制御方法、並びに画像形成装置及びその制御方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、記録紙を製本する製本装置及びその制御方法、並びに製本装置を備えた画像形成装置及びその制御方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は上記従来の問題点に鑑み、装置の動作不良の防止及び製本成果物の品位保証を実現することを可能とする製本装置及びその制御方法、並びに画像形成装置及びその制御方法を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するため、本発明は、記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置において、前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記表紙として使用する用紙のサイズを示す表紙サイズ情報、及び前記中紙に対する断裁量情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記中紙サイズ情報、前記表紙サイズ情報、及び前記断裁量情報に基づいて製本可能な束の厚さに関する束厚情報を算出する束厚算出手段と、前記束厚算出手段により算出された束厚情報を外部へ報知する報知手段とを備えたことを特徴とする。

また、本発明は、記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に接着材を塗布し

て表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置において、前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記中紙に対する断裁量情報、及び前記中紙の束の厚さに関する束厚情報を示す中紙束厚情報を取得する取得手段と、前記取得手段より取得された前記中紙サイズ情報、前記断裁量情報、及び前記中紙束厚情報に基づいて使用可能な表紙サイズを算出する表紙算出手段と、前記表紙算出手段により算出された表紙サイズに基づいて、選択可能な表紙としての用紙を制限する表紙制限手段とを備えたことを特徴とする。

また、本発明は、用紙に画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部から排出された画像形成済みの記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本部とを備えた画像形成装置において、前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記表紙として使用する用紙のサイズを示す表紙サイズ情報、及び前記中紙に対する断裁量情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記中紙サイズ情報、前記表紙サイズ情報、及び前記断裁量情報に基づいて製本可能な束の厚さに関する束厚情報を算出する束厚算出手段と、前記束厚算出手段により算出された束厚情報を外部へ報知する報知手段とを備えたことを特徴とする。

また、本発明は、用紙に画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部から排出された画像形成済みの記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本部とを備えた画像形成装置において、前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記中紙に対する断裁量情報、及び前記中紙の束の厚さに関する束厚情報を示す中紙束厚情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記中紙サイズ情報、前記断裁量情報、及び前記中紙束厚情報に基づいて使用可能な表紙サイズを算出する表紙算出手段と、前記表紙算出手段により算出された表紙サイズに基づいて、選択可能な表紙としての用紙を制限する表紙制限手段とを備えたことを特徴とする。

また、本発明は、記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置の制御方法であって、前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記表紙として使用する用紙のサイズを示す表紙サイズ情報、及び前記中紙に対する断裁量情報を取得する取得工程と、前記取得工程で取得された前記中紙サイズ情報、前記表紙サイズ情報、及び前記断裁量情報に基づいて製本可能な束の厚さに関する束厚情報を算出する束厚算出工程と、前記束厚算出工程により算出された束厚情報を外部へ報知する報知工程とを有することを特徴とする。

また、本発明は、記録紙を製本の中紙として集積し、該中紙の集積束に表紙を貼り付けて冊子を作製し、該冊子を指定したサイズに断裁することで製本成果物を生成する製本装置の制御方法であって、前記中紙として使用する用紙のサイズを示す中紙サイズ情報、前記中紙に対する断裁量情報、及び前記中紙の束厚情報を示す中紙束厚情報を取得する取得工程と、前記取得工程で取得された前記中紙サイズ情報、前記断裁量情報、及び前記中紙束厚情報に基づいて使用可能な表紙サイズを算出する表紙算出工程と、前記表紙算出工程により算出された表紙サイズに基づいて、選択可能な表紙として用紙を制限する表紙制限工程とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】